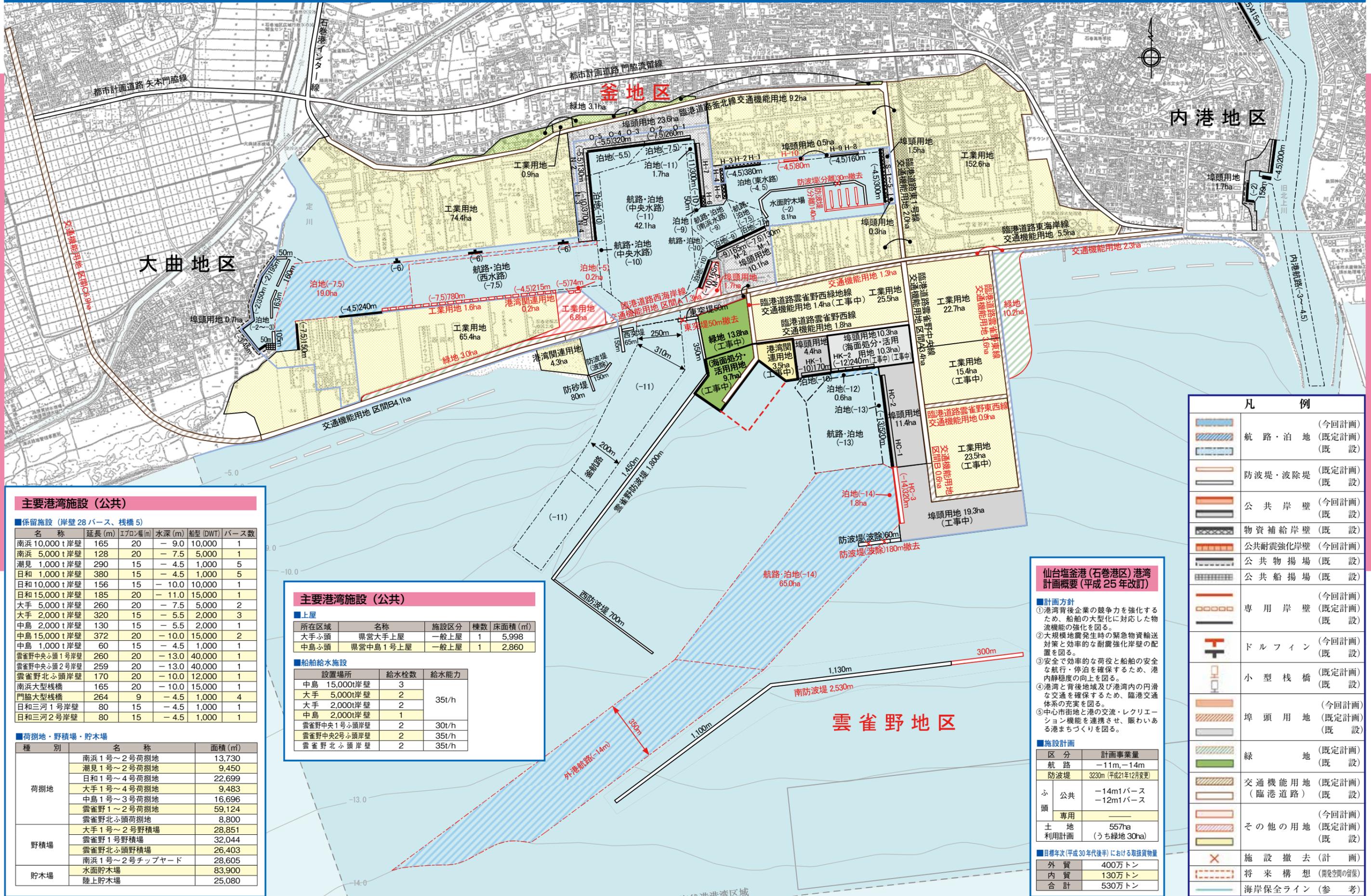


# 仙台塩釜港（石巻港区）港湾計画平面図



## 主要港湾施設（公共）

### ■係留施設（岸壁 28バース、棧橋 5）

名称	延長(m)	幅員(m)	水深(m)	船型(DWT)	バース数
南浜 10,000 t 岸壁	165	20	- 9.0	10,000	1
南浜 5,000 t 岸壁	128	20	- 7.5	5,000	1
潮見 1,000 t 岸壁	290	15	- 4.5	1,000	5
日和 1,000 t 岸壁	380	15	- 4.5	1,000	5
日和 10,000 t 岸壁	156	15	- 10.0	10,000	1
日和 15,000 t 岸壁	185	20	- 11.0	15,000	1
大手 5,000 t 岸壁	260	20	- 7.5	5,000	2
大手 2,000 t 岸壁	320	15	- 5.5	2,000	3
中島 2,000 t 岸壁	130	15	- 5.5	2,000	1
中島 15,000 t 岸壁	372	20	- 10.0	15,000	2
中島 1,000 t 岸壁	60	15	- 4.5	1,000	1
雲雀野中央ふ頭1号岸壁	260	20	- 13.0	40,000	1
雲雀野中央ふ頭2号岸壁	259	20	- 13.0	40,000	1
雲雀野北ふ頭岸壁	170	20	- 10.0	12,000	1
南浜大型棧橋	165	20	- 10.0	15,000	1
門脇大型棧橋	264	9	- 4.5	1,000	4
日和三河1号岸壁	80	15	- 4.5	1,000	1
日和三河2号岸壁	80	15	- 4.5	1,000	1

### ■荷捌地・野積場・貯木場

種別	名称	面積(m <sup>2</sup> )
荷捌地	南浜1号~2号荷捌地	13,730
	潮見1号~2号荷捌地	9,450
	日和1号~4号荷捌地	22,699
	大手1号~4号荷捌地	9,483
野積場	中島1号~3号野積場	16,696
	雲雀野1~2号野積場	59,124
	雲雀野北ふ頭野積場	8,800
	大手1号~2号野積場	28,851
貯木場	雲雀野1号野積場	32,044
	雲雀野北ふ頭野積場	26,403
	南浜1号~2号チップヤード	28,605
貯木場	水面貯木場	83,900
	陸上貯木場	25,080

## 主要港湾施設（公共）

### ■上屋

所在区域	名称	施設区分	棟数	床面積(m <sup>2</sup> )
大手ふ頭	県営大手上屋	一般上屋	1	5,998
中島ふ頭	県営中島1号上屋	一般上屋	1	2,860

### ■船舶給水施設

設置場所	給水栓数	給水能力
中島 15,000t岸壁	3	35t/h
大手 5,000t岸壁	2	
大手 2,000t岸壁	2	
中島 2,000t岸壁	1	
雲雀野中央1号ふ頭岸壁	2	30t/h
雲雀野中央2号ふ頭岸壁	2	35t/h
雲雀野北ふ頭岸壁	2	35t/h

## 凡例

	今回計画
	航路・泊地 (既定計画)
	既設
	防波堤・波除堤 (既定計画)
	既設
	公共岸壁 (今回計画)
	既設
	物資補給岸壁 (既定計画)
	既設
	公共耐震強化岸壁 (今回計画)
	既設
	公共物揚場 (既定計画)
	既設
	公共船揚場 (既定計画)
	既設
	今回計画
	専用岸壁 (既定計画)
	既設
	ドルフィン (今回計画)
	既設
	小型棧橋 (既定計画)
	既設
	今回計画
	埠頭用地 (既定計画)
	既設
	緑地 (既定計画)
	既設
	交通機能用地 (既定計画)
	(臨港道路) 既設
	今回計画
	その他の用地 (既定計画)
	既設
	施設撤去 (計画)
	将来構想 (開発空間の確保)
	海岸保全ライン (参考)

## 仙台塩釜港（石巻港区）港湾計画概要（平成25年改訂）

### ■計画方針

- ① 港湾背後企業の競争力を強化するため、船舶の大型化に対応した物流機能の強化を図る。
- ② 大規模地震発生時の緊急物資輸送対策と効率的な耐震強化岸壁の配置を図る。
- ③ 安全で効率的な荷役と船舶の安全な航行・停泊を確保するため、港内静穏度の向上を図る。
- ④ 港湾と背後地域及び港湾内の円滑な交通を確保するため、臨港交通体系の充実を図る。
- ⑤ 中心市街地と港の交流・レクリエーション機能を連携させ、賑わいある港まちづくりを図る。

### ■施設計画

区分	計画事業量
航路	-11m、-14m
防波堤	3230m (平成21年12月変更)
ふ頭	公共 -14m1バース -12m1バース
土	557ha
地	(うち緑地30ha)
利用計画	

### ■目標年次(平成30年代半)における取扱貨物量

外貨	400万トン
内貨	130万トン
合計	530万トン

# 日本三景松島を核とした観光拠点 東北を代表する観光拠点港湾



東浜地区

## Profile of the Port of Matsushima

Matsushima Bay is hailed as one of the three most scenic spots of Japan with about 260 islands covered with green pine trees and a magnificent landscape surrounded by the low hills. Today there are about 6 million tourists that visit this area each year.

Port of Matsushima had been used as a distribution center for rice and other products since the pre-Edo period. After the Teizan Canal was constructed, the port became a transit port, and when the Tohoku Honsen Train Line opened in 1887, the port began to be used as a tourism port.

The full-scale maintenance as a tourist port began after the port was designated as a regional port.

This area was also designated as an "International Tourism Model District" in 1986. As this is the most famous tourist attraction in the prefecture, the port will be developed in keeping with Matsushima's scenery.

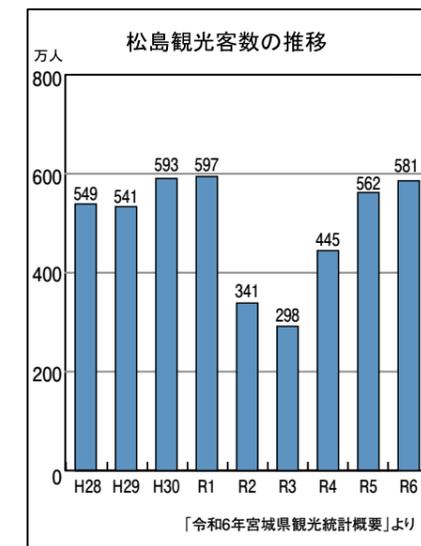
From FY 2005, the port was recognized in the Local Revitalization Act to respond to the decreasing number of tourists and to collaborate with the Nakago Fishing Port, a class 1 fishing port.

In October 2012, Port of Sendai-Shiogama, Port of Ishinomaki and Port of Matsushima were integrated in order to become the leading international hub port in the Tohoku region.

The Ports and Harbors Improvement Plan was revised in June 2013 provided that the development of the port shall contribute to promotion of tourism and the use of the port as well as to increase the number of tourists to the region.

## 松島港区のあゆみ

- 明治35年 松島公園が県内初の県立公園に指定される。  
(明治42年松島湾全体を県立公園用地に編入)
- 大正4年 松島公園落成記念大会開催。
- 大正11年 松島電車開通。  
(松島駅～松島海岸駅)
- 大正12年 史跡名勝天然記念物保存法に基づき名勝に指定される。
- 昭和27年 ヨットハーバー完成。  
第7回国民体育大会のヨット競技会場となる。  
文化財保護法に基づき特別名勝に指定される。
- 昭和29年 地方港湾に指定される。
- 昭和44年 東浜A船揚場、東浜B船揚場着手(昭和47年完成)。
- 昭和48年 地方港湾改修事業着手。
- 昭和62年 海岸環境整備事業着手。
- 昭和63年 県内初の小型観光船用の浮棧橋となる海岸前浮棧橋整備着手。
- 平成3年 浪打浜(人工海浜)一部供用開始(平成6年完成)。
- 平成5年 松島海岸通り浮棧橋整備着手(平成9年完成)。
- 平成18年 仙随浮棧橋整備着手(平成20年完成)。
- 平成23年 東日本大震災発生(3月)。
- 平成24年 仙台塩釜港、石巻港、松島港が統合し、仙台塩釜港松島港区となる(10月)。



海岸前地区



福浦島周辺

## 国際拠点港湾 仙台塩釜港松島港区



### PORT OF SENDAI

#### 概要

- 設立/昭和29年4月1日
- 港湾区域告示/昭和29年5月21日
- 国際拠点港湾指定/平成24年10月17日
- 所在市町村/松島町
- 観光港



## プロフィール

松島港区を含む松島湾は、緑の松に覆われた大小260余の島々を有し、なだらかな丘陵に囲まれた素晴らしい景観から日本三景の一つとして有名である。明治35年に県内初の県立自然公園に、大正12年に国の名勝、昭和27年には特別名勝に指定され、多くの観光客で賑わっている。

松島港区は、江戸時代以前は背後地からの米をはじめとした物資の移出拠点として利用されたが、真山運河の開通後は仙台と石巻の中継港となり、明治20年東北本線が開通すると観光港としての利用が進んだ。

昭和29年地方港湾の指定以後、本格的な観光港整備を開始し、航路・泊地の浚渫や護岸及び係留施設の整備が行われた。さらには観光船用ポンツーン(浮棧橋)の整備を海岸前地区で昭和63年から実施し、観光

機能の充実強化を図っている。

また、当地域は「国際観光モデル地区」に指定(昭和61年)されており、本県最大の観光地であることから、松島の景観に調和した親水性の高い港湾空間を創出する港湾整備を今後とも進めていくとともに、平成4年度から松島の水質・底質を改善する海域環境創造事業(シーブルー)を平成15年度まで実施してきた。

平成17年度からは、観光客の減少に対応するため、地域再生法による認定を受け、第1種漁港名籠漁港と連携した港湾整備を実施している。

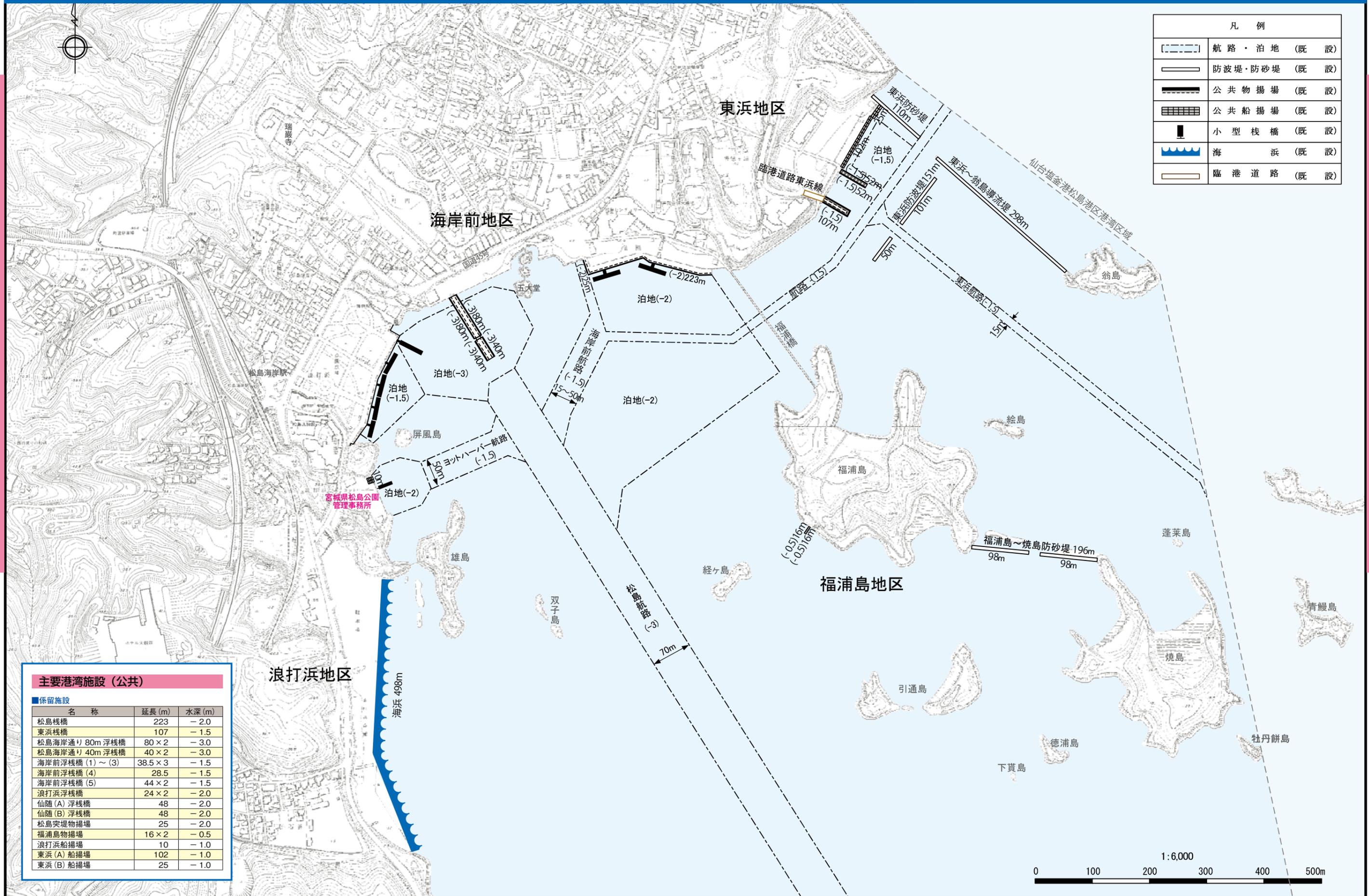
平成24年10月には、東北を牽引する中核的国際拠点港湾を目指し、仙台塩釜港、石巻港、松島港の3港を統合同体化し、名称が仙台塩釜港松島港区となった。これに伴

う翌年6月の港湾計画改訂では、これまで以上に観光振興に寄与し、さらなる港湾の利用や観光客の増加が図られるよう、他の港区との海上ネットワークの構築など必要な整備に取り組んでいくとしている。

# 仙台塩釜港（松島港区）港湾平面図

松島港区

松島港区



凡 例	
[---]	航路・泊地 (既 設)
[=]	防波堤・防砂堤 (既 設)
[■]	公共物揚場 (既 設)
[□]	公共船揚場 (既 設)
[↑]	小型栈橋 (既 設)
[〰]	海 浜 (既 設)
[—]	臨 港 道 路 (既 設)

## 主要港湾施設（公共）

■ 係留施設		
名 称	延長 (m)	水深 (m)
松島栈橋	223	-2.0
東浜栈橋	107	-1.5
松島海岸通り 80m 浮栈橋	80 × 2	-3.0
松島海岸通り 40m 浮栈橋	40 × 2	-3.0
海岸前浮栈橋 (1) ~ (3)	38.5 × 3	-1.5
海岸前浮栈橋 (4)	28.5	-1.5
海岸前浮栈橋 (5)	44 × 2	-1.5
浪打浜浮栈橋	24 × 2	-2.0
仙随 (A) 浮栈橋	48	-2.0
仙随 (B) 浮栈橋	48	-2.0
松島突堤物揚場	25	-2.0
福浦島物揚場	16 × 2	-0.5
浪打浜船揚場	10	-1.0
東浜 (A) 船揚場	102	-1.0
東浜 (B) 船揚場	25	-1.0

# 地方港湾 気仙沼港

PORT OF KESENUMA

- 概要
- 設立/昭和38年4月23日
  - 港湾区域告示/昭和38年6月25日
  - 所在市町村/気仙沼市



## 生活基盤を支える港



### プロフィール

県北に位置する気仙沼湾は、古くは細浦とよばれ釜の前湾と称されるときも、鼎ヶ浦の別名もある。慶長16年(1611年)藩主伊達政宗の命で港を観察したスペイン人セバスチャン・ビスカイノによれば、最良の港であると報告されており、江戸中期には地域の拠点港として繁栄したと思われる。

湾内における港の整備は、昭和4年に起工された漁港修築工事が本格的なものであり、現在では全国屈指の漁港として整備されている。

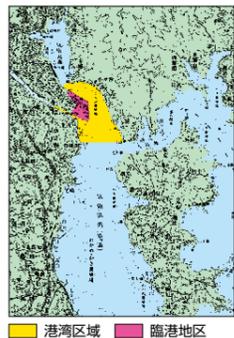
一方、港湾については、水産品をはじめとした産業製品の流通促進と気仙沼市の周辺地域における中心都市への発展を図るため、内の脇地区に商港建設が計画された。

昭和38年地方港湾の指定を受け、翌39年に建設工事が起工されてからは、以後46年までに5,000トン岸

壁(-7.5m)2バース、1,000トン岸壁(-4.5m)3バースが完成した。さらに昭和60年には5,000トン岸壁1バースが完成し港湾機能の充実が図られている。また、港湾背後には工業用地が造成され、企業の立地や荷さばき施設の整備も図られている。

令和2年には、復興道路「三陸自動車道気仙沼港IC」が開通し、本港へのアクセスが飛躍的に向上した。港内を横断する三陸自動車道気仙沼湾横断橋(愛称:かなえおおはし)は夜間にライトアップされ、気仙沼の新たなシンボルとなっている。

また、令和3年には国土交通省港湾局から、内湾部に位置する6つの施設が「みなとオアシス気仙沼」として登録を受け、「みなと」を核としたまちづくりの促進が期待されている。



#### 主要港湾施設(公共)

■係留施設(岸壁6バース)						
名称	延長(m)	E70m幅(m)	水深(m)	船型(DWT)	バース数	
朝日ふ頭-4.5m1号岸壁	60	20	-4.5	1,000	1	
朝日ふ頭-4.5m2号岸壁	60	15	-4.5	1,000	1	
朝日ふ頭-4.5m3号岸壁	67	15	-4.5	1,000	1	
朝日ふ頭-7.5m1号岸壁	130	20	-7.5	5,000	1	
朝日ふ頭-7.5m2号岸壁	130	20	-7.5	5,000	1	
朝日ふ頭-7.5m3号岸壁	130	20	-7.5	5,000	1	

■荷捌地・野積場		
種別	名称	面積(m <sup>2</sup> )
荷捌地	朝日ふ頭荷捌地(1)	2,808
	朝日ふ頭荷捌地(2)	1,840
野積場	朝日ふ頭野積場(3)	8,922
	朝日1号野積場	14,944
	朝日2号野積場	6,336

## 地方産業の基盤整備を支える港

# 地方港湾 女川港

PORT OF ONAGAWA

- 概要
- 設立/昭和29年4月1日
  - 港湾区域告示/昭和29年5月21日
  - 所在市町村/女川町



### プロフィール

女川港は、古くから沿岸漁業に利用されるとともに、金華山や江島・出島などの離島交通の要衝であった。慶長16年(1611年)にはイスパニア使節団に、また明治18年にはイギリス東洋艦隊によって天然の良港と評された。

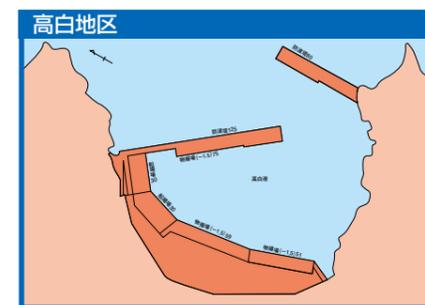
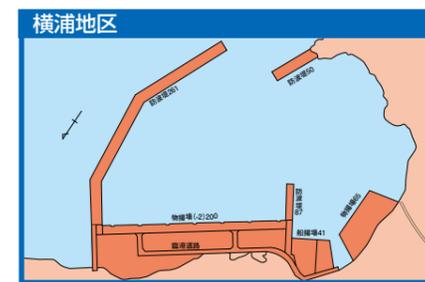
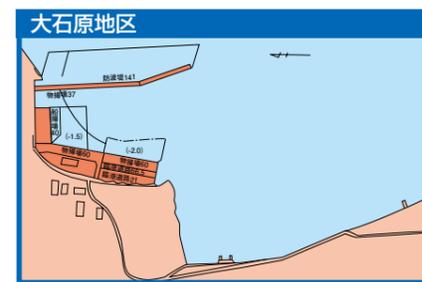
そのため、明治政府は、台風により破壊された野蒜港にかわって女川港に築港計画を検討したが、財政上の理由から中止となった。その後、大正14年になり女川振興会が組織され、以後昭和初期にかけ魚市場及び岸壁の整備が進み漁業基地としての基礎が固められた。

昭和14年、商港建設を図る女川港修築期成同盟会

が組織され、同16年から工事が始まり同42年にかけて防波堤、岸壁等の主要施設が完成した。その間、昭和29年には地方港湾に指定された。

女川港は、石浜地区、高白地区、横浦地区そして大石原地区において整備が実施されており、特に石浜地区は、水産加工品や化学工業品の貨物取扱いの機能充実を図るため、女川町において工業用地の造成を行い、県において岸壁・物揚場等の施設を整備し、平成11年に概成した。

また、高白、横浦、大石原地区には小型漁船対応施設が整備され、地域の生活基盤の安定に役立っており、今後ますます発展が期待されるものである。



地方港湾  
**雄勝港**  
PORT OF OGATSU

概要

- 設立/昭和29年4月1日
- 港湾区域告示/昭和29年5月21日
- 所在市町村/石巻市
- 避難港/昭和26年9月22日指定



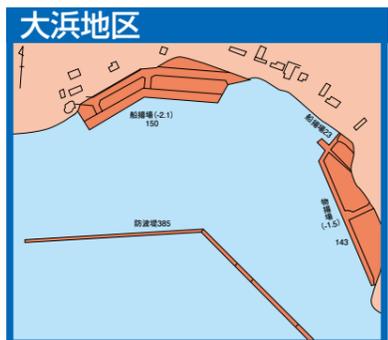
### プロフィール

雄勝湾は、古くから「月浦」と呼ばれており、その名の起りは坂上田村麻呂による蝦夷征伐の頃と伝えられている。湾奥には、慶長年間に支倉常長ら一行をローマに遣わせた使節船サンファンパウティスタ号の建造地（十五浜村の呉壺）があることで有名である。

大正時代には軍艦の入港が見られるとともに、その湾内地形や自然条件から大小船舶の停泊や避難に利用されていた。

昭和8年、三陸地震津波で大きな被害を受けたが、その後復興が進み、遠洋・近海・沿岸の漁業基地として、また特産品の硯石やスレート製品の積出港として栄えた。

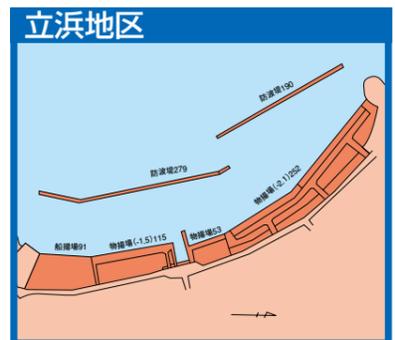
雄勝湾には、大浜、立浜、伊勢畑、小島、唐桑、水浜、浪板の7地区があるが、いずれも沿岸浅海型漁業が盛んであり、その生活基盤を支える物揚場や船揚場等を整備したものである。



主要港湾施設（公共）

係留施設

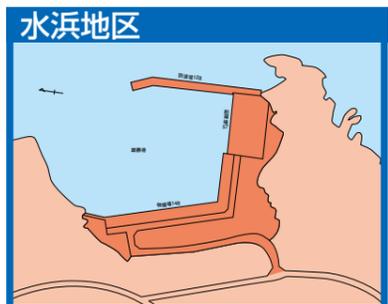
名称	延長(m)	水深(m)
大浜-1.5m物揚場	143	-1.5
大浜(-2.0m)物揚場	149	-2.1
大浜1号船揚場	23	-



主要港湾施設（公共）

係留施設

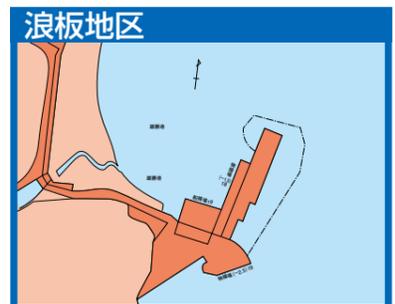
名称	延長(m)	水深(m)
立浜-1.5m物揚場	118	-1.5
立浜物揚場	53	-1.4
立浜(-2.0m)物揚場	252	-2.1
立浜船揚場	89	-



主要港湾施設（公共）

係留施設

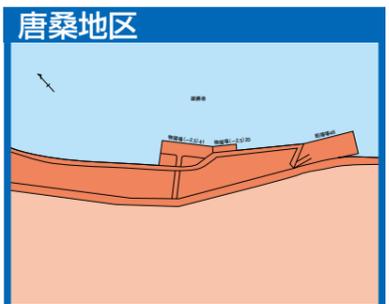
名称	延長(m)	水深(m)
水浜物揚場	148	-2.0
水浜船揚場	56	-2.0



主要港湾施設（公共）

係留施設

名称	延長(m)	水深(m)
浪板物揚場(1)	18	-1.5
浪板物揚場(2)	19	-2.5
浪板船揚場	19	-2.5



主要港湾施設（公共）

係留施設

名称	延長(m)	水深(m)
唐桑-2.5m物揚場	41	-2.5
唐桑物揚場	20	-2.5
唐桑船揚場	41	-



### プロフィール

荻浜月浦は、慶長18年(1613年)藩主伊達政宗の命を受けた家臣支倉常長ら一行が、一路ローマを目指しサン・ファン・パウティスタ号で出帆した歴史的な場所である。

荻浜港は、古くからの漁村であったが、明治維新後の海運業の発達に伴い明治14年汽船の定期航路が開設され、鉄道がなかった当時の東北地方において船が輻輳し、県内最大の港として賑わいをみせた。

しかしながら、明治23年に東

北本線が開通すると乗客は減少し、主として木材、スレート、魚介海産物の集積地となった。

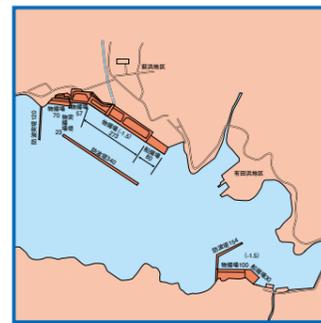
明治44年になり、金華山沖を漁場とする捕鯨基地として一時活況を取り戻したが、捕鯨会社の鮎川港への事業場移転、汽船寄港の廃止そして海運省の貯炭庫廃止が続き、湾勢は衰微した。

現在は、主として小型漁船の出入と船舶避難用に利用されており、荻浜地区と小積地区において防波堤や物揚場等が整備された。

主要港湾施設（公共）

係留施設

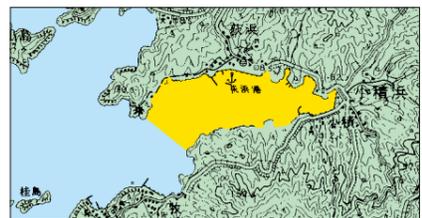
名称	延長(m)	水深(m)
突堤物揚場	13	-1.0
荻浜物揚場(1)	274	-1.5
荻浜物揚場(2)	57	-2.0
荻浜物揚場(3)	70	-2.0
荻浜船揚場	80	-1.5
小積物揚場	100	-1.5
小積船揚場	36	-1.2



地方港湾  
**荻浜港**  
PORT OF OGINOHAMA

概要

- 設立/昭和29年4月1日
- 港湾区域告示/昭和29年5月21日
- 所在市町村/石巻市



港湾区域



### プロフィール

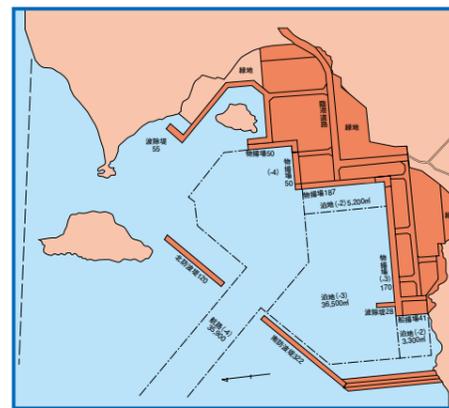
表浜港は、牡鹿半島の西南に位置し、海岸美あふれる典型的なリアス式海岸の中にある。

昭和59年、地方港湾の指定を受け、港湾計画の策定とともに整備が開始された新しい港湾である。その基本方針は、地元水産育成のための小型漁船対応施設の整備、そして海洋性レクリエーションに対応するマリーナの整備等であり、そのうち小型漁船及び観光船対応の施設については平成2年度までに概成した。

主要港湾施設（公共）

係留施設

名称	延長(m)	水深(m)
表浜(-3.0)物揚場	170	-3.0
表浜(-2.0)物揚場	150	-2.0
表浜(-4.0)物揚場A	50	-4.0
表浜(-4.0)物揚場B	50	-4.0
表浜船揚場	41	-



地方港湾  
**表浜港**  
PORT OF OMOTEHAMA

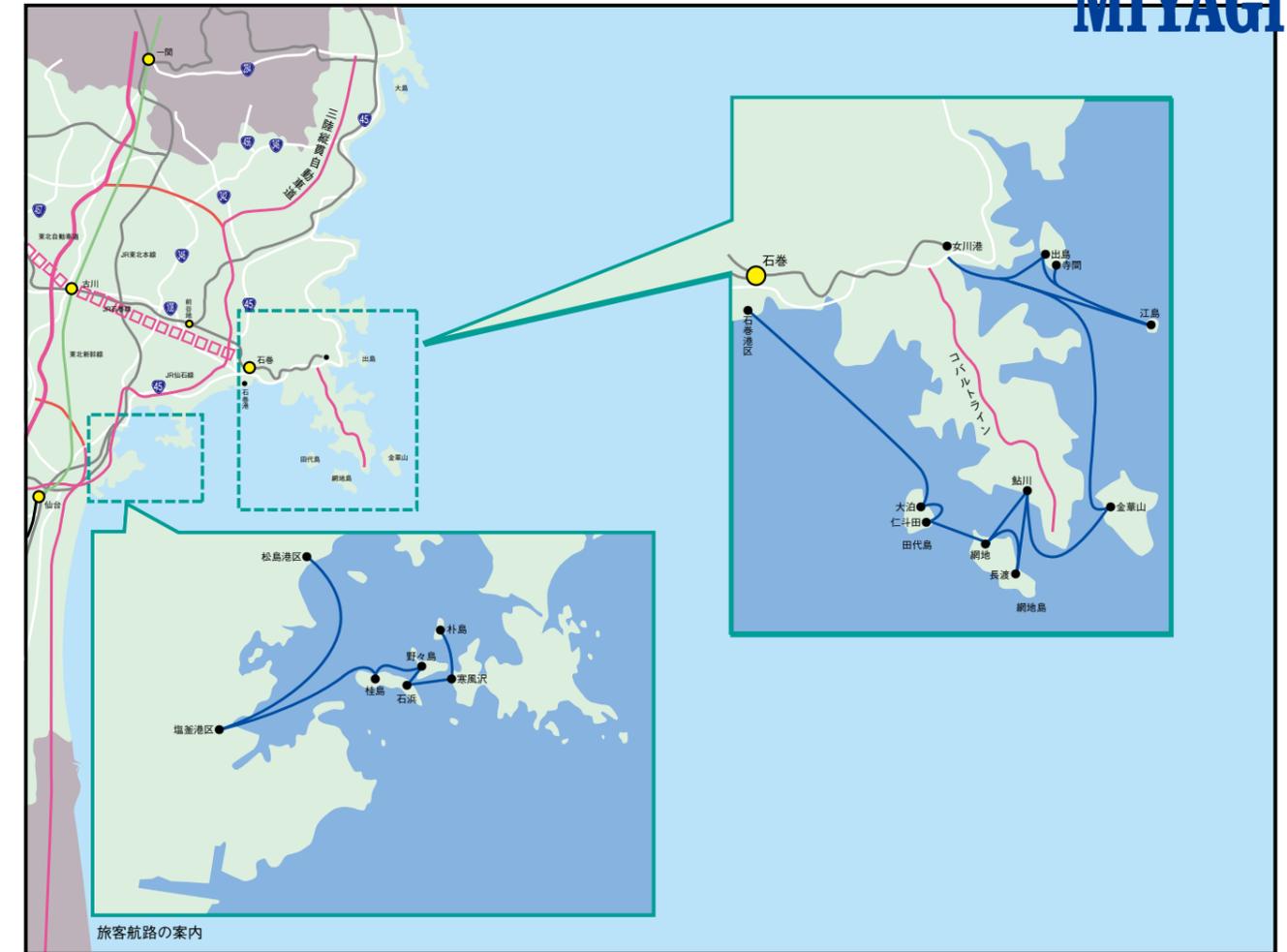
概要

- 設立/昭和59年9月18日
- 港湾区域告示/昭和59年10月5日
- 所在市町村/石巻市
- 観光港



港湾区域

# 県内旅客船定期航路ガイド



## 東北運輸局管内

航路名	中間寄港地	船社名	TEL	主な使用船舶名	便数(一日)	備考
塩釜～朴島	桂島・野々島・石浜・寒風沢	塩竈市産業環境部浦戸振興課	022-364-7710	しおじ・うらと・みしお	6～8便	離島航路(補助指定航路)
塩釜～松島					6～7便	
松島湾内周遊コース		丸文松島汽船株	022-365-3611	第二芭蕉丸・第三芭蕉丸・はやぶさ・はやぶさ2・あずか・あおば・しらたか・はやぶさ3	6便	
塩釜～塩釜コース					7便	
松島～嵯峨溪～松島						所要約1時間50分
松島湾内周遊コース		松島島巡り観光船企業組合	022-354-2233	第三仁王丸・仁王丸・第二仁王丸・マリンブルー・マリンスター・マリンイーグル・マリンホープ	6～8便	所要約50分
松島～塩釜						貸切予約運航 所要約40分

## 石巻海事事務所管内

航路名	中間寄港地	船社名	TEL	主な使用船舶名	便数(一日)	備考
鮎川～金華山		株金華山観光	0225-45-3377	ホエール	1便	
石巻～長渡	大泊・仁斗田・網地	網地島ライン株	0225-93-6125	シーキャット・マーメイドII	4～5便	離島航路(補助指定航路)
女川～江島	出島・寺間	シーパル女川汽船株	0225-54-2753	しまなぎ	3便	離島航路(補助指定航路)
鮎川港～金華山港		シードリーム金華山汽船株	0225-44-1055	ドリーム	1便	
女川～金華山		株潮プランニング	0225-98-9038	ベガ・アルティア		日曜日・祝日 1日1便 定期運航 土曜日 1日1便 臨時便運航

# 地方港湾 金華山港

## PORT OF KINKASAN

### 概要

- 設立/昭和36年9月30日
- 港湾区域告示/昭和36年11月28日
- 所在市町村/石巻市
- 観光港



港湾区域



## 主要港湾施設(公共)

■係留施設		
名称	延長(m)	水深(m)
金華山-2.5m物揚場	86	-2.5
金華山-2.0m物揚場	44	-2.0
金華山-1.5m物揚場	36	-1.5
金華山2号物揚場(1)(2)	36×2	-2.5
金華山3号物揚場	66	-3.0
金華山船揚場	5	-

## プロフィール

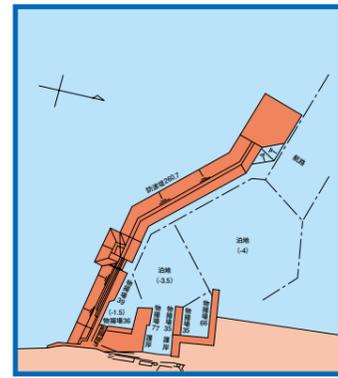
金華山は、古く天平年に、金を司る金山毘古金毘売神を祀った黄金山神社が建立されており、以来、幾度か火災に見舞われたものの1200年間以上にわたり、商売繁盛などの開運の神として人々の信仰を集めている。

大正14年、旧陸軍の大演習が宮城県で実施されるにあたり、総監として来県された摂政官の金華山行啓を仰ぐために昼夜兼行の工事が行われ、防波堤や棧橋が完成した。

その後、昭和になり県単事業での港湾整備が進み、観光・参拝者のた

めの連絡船が石巻、女川に就航し、戦中戦後を経て現在の定期航路の開設にいたっている。その間、金華山を訪れる観光客と参拝者は増加し港が狭隘化したため、昭和34年度から諸整備が始められ、昭和55年度に現在の金華山港が概成した。

現在、金華山を含む周辺地域は「南三陸金華山国定公園」に指定されており、観光拠点として当港の果たす役割はますます重要となっていることから、平成18年度に新防波堤が竣工しており、観光機能の充実を図っている。



既設

# 地方港湾 御崎港

## PORT OF OSAKI

### 概要

- 設立/昭和56年1月23日
- 港湾区域告示/昭和56年1月30日
- 所在市町村/気仙沼市
- (H18.3.31合併)
- 観光港



港湾区域



## 主要港湾施設(公共)

■係留施設		
名称	延長(m)	水深(m)
御崎-4.0m物揚場	55	-4.0
御崎-3.5m物揚場	41	-3.5
御崎-2.0m物揚場	61	-2.0
御崎船揚場	29	-2.0

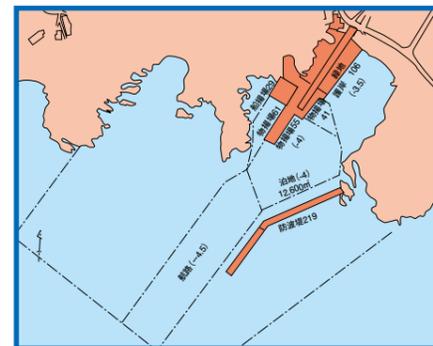
## プロフィール

御崎港は、県北にある唐桑半島の先端部分に位置している。周辺はリアス式海岸の景観美あふれる地域で、昭和39年、陸中海岸国立公園に編入されており、さらにその内湾は海中公園の指定を受けるなど観光資源豊かな地域である。

一方観光開発も、国民宿舎、野営場、ビジターセンターそして周辺道路の整備が進められたが、さらに海上ルートを確認するため観光港建設の機運が高まり、昭和56年地方港湾に指定されるとともに港湾計画が策定され、港湾施設の建設に着手した。

昭和59年、当地で開催された第26回全国自然公園大会に合わせて施設の一部が供用を開始し、その後平成2年度までに港の施設はほぼ概成した。

平成29年に環境省によるトレッキングコース「みちのく潮風トレイル」、平成30年に宮城オルレ「気仙沼・唐桑コース」が開設されたことで、当港の観光客増加が期待される。



既設

# 国際拠点港湾仙台塩釜港石巻港区 工業用地2区画分譲中

メニュー豊富  
**優遇制度**  
奨励金、給付金等で  
石巻港進出を  
応援します

整備された  
**高速道路  
ネットワーク**  
三陸自動車道  
石巻港ICまで  
車で約10分

東北最大の消費地  
**仙台都市圏  
に近接**  
東北最大の消費地は  
絶好のビジネス  
チャンス



**受付・お問い合わせは**  
宮城県石巻港湾事務所  
〒986-0845  
石巻市中島町17-2  
TEL 0225-95-6272 FAX 0225-95-6273  
E-mail : iskowns@pref.miyagi.lg.jp  
URL : https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/is-kouwan/

**分譲2区画物件概要**  
■所在地/石巻市西浜町外 ■分譲区画数/2区画  
■分譲面積/52,690.73～85,615.53㎡  
■分譲価格/494,293,047～803,073,671円  
■用途地域/工業専用地域  
■建ぺい率/60% ■容積率/200%  
■設備等/上水道:石巻地方広域水道、下水道:自己処理、ガス:  
都市ガスなし、電気:東北電力、工業用水:なし

## 分譲区画価格表

大曲地区 (東松島市)				
区画	面積(㎡)	単価(円/㎡)	金額(円)	用途地域
M-1	52,690.73	9,380	494,293,047	工業専用地域
西浜地区 (石巻市)				
区画	面積(㎡)	単価(円/㎡)	金額(円)	用途地域
M-2	85,615.53	9,380	803,073,671	工業専用地域

\*記載の単価は不動産鑑定等により変動することがあります。

### 石巻港背後地への進出を応援します

宮城県の優遇制度	
○みやぎ企業立地奨励金	
○宮城県工業立地促進資金融資制度	
○原子力発電施設等周辺地域企業立地支援事業補助金 等	
石巻市の優遇制度	
○企業立地助成金	○東松島市の優遇制度
○上水道料金助成金	○企業立地促進奨励金
○緑化推進補助金 等	○工業用水確保補助金
	○環境整備促進補助金 等
※この他にも優遇制度がありますので、下記にお問い合わせ下さい。	
問い合わせ先	
宮城県経済商工観光部産業立地推進課	TEL 022-211-2733
石巻市産業部産業推進課	TEL 0225-95-1111
東松島市産業部商工観光課	TEL 0225-82-1111

\*制度の適用については、条件がありますので事前にご確認ください。



分譲位置図

## 仙台塩釜港の近年の動向

### せんだいポータルラジオの導入

仙台港区では船舶の大型化や入出港の輻輳による港内の混雑に対応し、安全で円滑な航行を支援するため、入出港情報の一元化、リアルタイムでの船舶動向の把握、港湾施設の利用調整などを行う航行補助施設「ポータルラジオ」を導入し、令和7年4月1日より運用を開始している。

ポータルラジオの運用により、入港の2～3時間前からVHF無線電話での通信が可能となり、港の利用状況に関する情報提供や、入出港時間の変更に伴う利用調整などを行うことで、円滑かつ安全な船舶の航行に資することが期待される。

#### 無線局の位置と通信可能範囲



#### 仙台港区VTISセンター執務室 (運用開始前)



- ①モニター4面 (監視カメラ、AIS・レーダー、運航情報)
- ②国際VHF無線電話
- ③④⑤専用モニター (風向風速、カメラ、運航予定一覧)

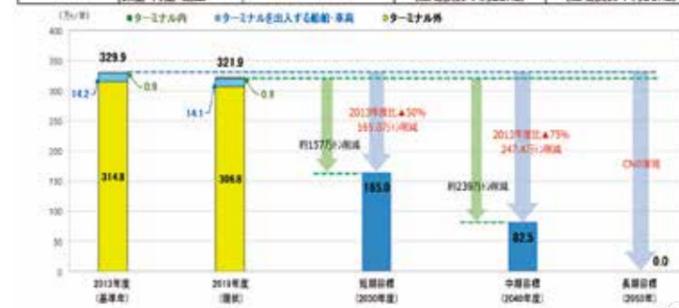
## カーボンニュートラルレポート (CNP) の形成

仙台塩釜港では港湾の脱炭素化を推進するため、港湾関係者等で組織する「仙台塩釜港港湾脱炭素化推進協議会」を設置しており、令和6年3月には仙台塩釜港における脱炭素化の方針や具体的な取組を定めた「仙台塩釜港港湾脱炭素化推進計画」を策定している。

計画では温室効果ガス削減目標を2030年度50%削減、2050年実質ゼロとしており、産業活動や港湾物流における設備・機械等の電化や水素等次世代エネルギーへの転換等による排出削減を推進すると共に、次世代エネルギーの供給拠点の検討を実施していくこととしている。

#### 計画の目標

KPI (重要達成度指標)	具体的な数値目標		
	短期 (2030年度まで)	中期 (2040年度まで)	長期 (2050年度まで)
計画の基本目標	KPI 1 CO2排出量 165.0万トン/年 (2013年比50%減)	82.5万トン/年 (2013年比75%減)	実質0トン/年 (2013年比100%減)
個別施策	KPI 2 低・脱炭素型 岸設備導入率	50%	75%
	KPI 3 ブルーインフラの 保全・再生・創出	-	吸収量: 123トン/年 (2019年比10%増) (温床換算: 約25ha)
			吸収量: 246トン/年 (2019年比20%増) (温床換算: 約50ha)



#### カーボンニュートラルレポート(CNP)のイメージ



荷主や船社から選ばれる競争力のある港湾の形成

# 「慶長遣欧使節」及び「野蒜築港」

# 港湾マメ知識



## 支倉常長とサン・ファン・パウティスタ号

慶長18年9月15日(1613年10月28日)、仙台藩主伊達政宗の命を受けた支倉常長ら慶長遣欧使節180名が、仙台藩が建造した「サン・ファン・パウティスタ号」に乗り、牡鹿郡月浦(現石巻市)からローマへ向けて出帆した。一行は3ヶ月で太平洋を横断しメキシコに上陸、陸路を経て大西洋岸に出たのち、スペイン艦隊に乗船して、日本人として初めて大西洋を横断、当時の世界最強国スペインへ渡り、1615年10月29日に目的のローマに到着している。同年11月3日にはヴァティカン宮で法王パウロ5世と正式に謁見した。しかしその後の日本国内でのキリシタン弾圧とわが国をめぐる国際情勢の激変で交易の目的は達せられなかったが、当時の航海技術、日本の国内情勢、国際関係などが国内外の事情を考える時、日本史上はもとより世界史的にも注目すべき快挙であったと言える。

又、この時使用された「サン・ファン・パウティスタ号」は、まさに日本人によって造られ、最初に太平洋を往復した船であった。500トン以上のこの船は、常長一行が太平洋を横断する都度、計2往復しており、最後はスペイン艦隊に編入されたほどの堅牢な船であった。この船なくして慶長遣欧使節は語れないであろう。

平成25年には、「サン・ファン・パウティスタ号」出帆400周年を迎えたことから、寄港した各国(メキシコ、キューバ、スペイン、イタリア)との文化交流イベント等をはじめ、国内外を越えて多くのイベントが実施された。

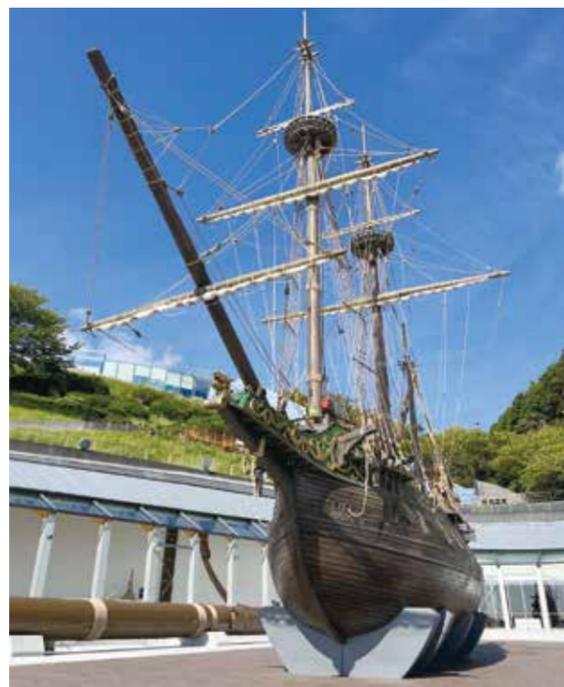
## 野蒜築港の歴史

明治11年、鳴瀬川の河口部に位置する野蒜において我が国最初の近代的築港事業が展開された。当時の明治政府は富国強兵・殖産興業政策により中央集権制の確立を目指して、東北開発に国家資金を投入した。野蒜築港はその中心政策の1つであった。

築港計画は、鳴瀬川河口に内港を設け、宮戸島北東の潜ヶ浦を外港として、貿易港を建設しようとするものであり、鳴瀬川河口に東西2本の防波堤が建設され、新鳴瀬川と北上・東名両運河の開削、新市街地の造成が行われた。

明治15年10月、内港が完成し(開港)、野蒜の地は活況を呈したが、それもつかの間、わずか2年後には台風による波浪と増水により壊滅的な打撃を受けた。明治政府は予算の捻出不能から外港建設はもちろん、復旧工事にも着手しないまま、野蒜築港を中止した。計画から8年の歳月と68万3千円(現在推定約60億円)の巨額が水泡に帰し、野蒜築港は幻の港に終わった。

現在では、当時の新市街地跡に建つ記念碑と新鳴瀬川にかけられた橋の、赤レンガ造りの橋台跡が残存し、往時の面影をとどめている。



1/4スケールで復元されたサン・ファン・パウティスタ号

サン・ファン・パウティスタ号は、平成5年に「20世紀最後で最大の木造船」として当時の姿そのままに復元され、石巻市渡波にある慶長使節船ミュージアム内に係留されました。船は老朽化に伴い役目を終え令和4年に解体され、現在はミュージアムのリニューアルに伴い、4分の1スケールで再現した展示や、船の解説・帆を張った姿の再現などをAR(拡張現実)コンテンツで楽しむことができます。

【連絡先】公益財団法人慶長遣欧使節船協会 0225(24) 2210



現在の野蒜港

- ① 突堤
- ② 野蒜
- ③ 東名運河
- ④ 船だまり跡
- ⑤ 鳴瀬川
- ⑥ 北上運河
- ⑦ 新市街地跡
- ⑧ 新鳴瀬川
- ⑨ 東松島市浜市

## 港湾行政用語

### 港湾の法律上の分類

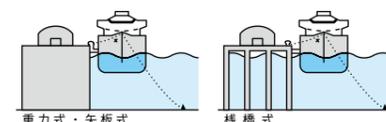
- ・国際戦略港湾…長距離の国際海上コンテナ輸送に係る国際海上貨物輸送網の拠点となり、かつ、当該国際海上貨物輸送網と国内海上貨物輸送網とを結節する機能が高い港湾で、その国際競争力の強化を重点的に図ることが必要な港湾(全国5港。)
  - ・国際拠点港湾…国際戦略港湾以外の港湾で、国際海上貨物輸送網の拠点となる港湾(全国18港。本県では仙台塩釜港)
  - ・重要港湾…国際戦略港湾及び国際拠点港湾以外の港湾で、海上輸送網の拠点となる港湾その他の国の利害に重大な関係を有する港湾(全国102港。)
  - ・地方港湾…国際戦略港湾、国際拠点港湾、重要港湾以外の港湾(全国807港。本県では気仙沼港など7港)
  - ・避難港…暴風雨に際し小型船舶が避難のために停泊することを主たる目的とし、通常貨物の積卸し又は旅客の乗降の用に供せられない港湾(全国35港。本県では雄勝港)
- 港湾管理者…港湾法に基づき、港湾の一体的な管理運営とその総合的開発発展を図る公共的責任主体で、地方公共団体が単独または共同して管理者となる
- 海岸管理者…海岸法に基づき、津波、高潮、波浪その他海水または地盤の変動による被害から海岸を防護し、国土の保全の事務を負う国の機関。一般的には都道府県知事となる
- 港湾区域…経済的に一体の港湾として管理運営するために最小限度必要な認可水域
- 臨港地区…港湾の機能を十分発揮できるように港湾を管理運営するため指定された陸域

## 港湾の機能別分類

種類	機能
商港	電気製品、機械製品、その他一般雑貨などの物流物資を扱う港
工業港	臨海工業地帯などにおいて工場と一体となって建設される港
エネルギー港湾	石油、石炭、液化天然ガス(LNG)などのエネルギーを受け入れる港
避難港	台風時などにおいて船が安全に避難するための港
観光港	旅客船、遊覧船などが利用する港
マリーナ	ヨット、モーターボートなどが利用する港
漁港	漁船が利用する港

## 港湾施設

- 航路…港を出入りする船舶の通路
  - 航路標識…船舶に自分の位置を確認させる灯台や浮標灯などの標識
  - 泊地…船舶が安全に停泊するための水域
  - 防波堤…外海からの波を防いで港内の静穏度を保つための堤防
  - 岸壁(物揚場)…船舶を横付けして貨物の積卸しや船客の乗降ができる施設。船一隻分が占める水域を1バースという。([「ふ頭」は岸壁、物揚場、荷さばき地等の総称])
- 岸壁(-4.5m以上)  
物揚場(-4.5m未満)



## 船舶の入港と貨物の動き

### ●入港前

船長は、入港予定日時、船舶の大きさ、積載貨物の種類・数量等を自分の会社や船舶代理店に連絡する。船舶代理店は、船舶の入港手続き、貨物積卸し作業準備をする。

### ●入港直前

船長は、検疫錨地(港外)へ船舶を停泊させて、

- ①伝染病の有無(検疫所)
- ②密輸品(税関)
- ③密入国者の有無(入国管理局) etc.

の関係官庁の調査を受けた後、初めて入港する。

一定の航路を通過し、事前に県港湾事務所が許可した岸壁やさん橋に横付けするため、パイロット(水先案内人)の案内で入港する。

### ●貨物の積卸し作業

船舶がふ頭に接岸した後、貨物の積卸し作業が始まる。

岸壁やさん橋につながれた船舶の貨物は、船内クレーンや岸壁にあるクレーンで積卸しされる。

積卸しされた貨物は、保管施設に運ばれたり、トラックや鉄道で内陸輸送されたり、あるいは、他の船舶に積替えられて他港に移出される。

### ●出港

荷揚げした船舶は、さっそく船内清掃や船舶の点検をする。出港時には、燃料、食料、水等を積込んで出港する。

貨物を運んで出港する場合は、入港時と同じような手続きが必要となる。

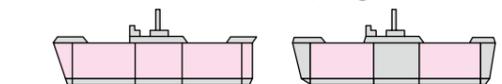
## 船舶の規模と速さ

### 総トン数(G/T)

船体で囲まれた場所の全部の容積をトンで表したものと(2.83m<sup>3</sup>が1トン)

### 重量トン数(D/W)

船が積めるかぎりの貨物や燃料等の重さを表したものと(1,016kgが1トン[英トン])



ノット：船の速さを表す単位 1ノット=約1.852m/h

### ■荷さばき施設

荷役機械…クレーンなど、貨物の積卸しに使う機械  
上屋…船舶から卸された貨物や船積みされる貨物の一時保管場所

### ■保管施設

野積場…石炭、鉱石、木材のように屋外に置いても構わない貨物の長期保管場所。また、原木の場合は、陸上貯木場と水面貯木場がある。

サイロ…コンクリートで作られた穀物やセメント用の円筒形倉庫

倉庫…船舶から卸された貨物や船積みされる貨物の長期保管場所

### ■コンテナ

コンテナ…貨物輸送の合理化のために開発された一定の容積をもつ輸送容器。

T E U…Twenty-foot-Equivalent Unit. 20フィートコンテナ(5.9×2.3×2.3m)に換算したコンテナ取扱個数の単位。

コンテナヤード…コンテナの受け渡し、蔵置などを行う場所